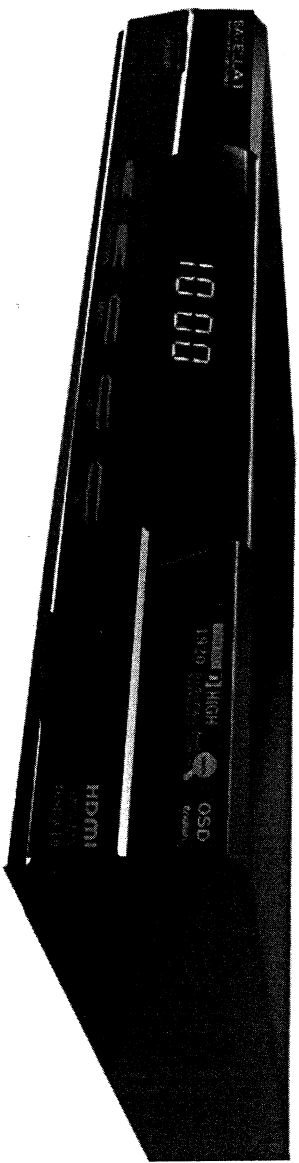


# SATELLA 1

Digital Satellite Tuner for FTA

## 日本語版 取扱説明書



当社指定以外のソフトウェア書き換え・改造によるご使用による故障、その他のあらゆる損害に対して、当社・ならびに販売店は一切の責任を取りません。ご注意ください。

# 目次

■ リモコン操作 .....	P.5
■ 接続方法	
各部詳細 .....	P.6
接続方法 .....	P.7
■ 設定	
設定画面 .....	P.8
基本機能 .....	P.9
■ 設定手順	
受信設定 .....	P.10～11
パスワード設定 .....	P.12
ソフトウェア更新 .....	P.13
初期化設定 .....	P.14
録画方法 .....	P.15
アンテナ調整 .....	P.16
リモコン操作方法 .....	P.17
■ 登録されている衛星リスト .....	P.18～19
■ トラナルシユーンテナング .....	P.20
■ リモコン設定コード一覧 .....	P.21

# ご利用を始める前に

付属品が全て揃っているかどうかをご確認ください。不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

## 注意事項

### ●本体に関して

本製品は、海外の無料衛星放送 (FTA) を受信するためのチューナーです。

その目的以外でのご使用はできません。製品の仕様、価格及びデザインは改良のため予告なく変更する場合がございますが、ご了承ください。

本製品の保証期間は 1 年間です。販売元での照会が必要のため、ご購入時の伝票、製品本体のシリアルコード (製造番号) は必ず保管してください。

### ●衛星放送に関して

衛星放送は、雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出ます。ひどい場合には全く受信ができなくなる場合があります。

受託放送事業者、あるいは委託放送事業者側の何らかのトラブルで支障があった場合に、放送が見られない場合があります。

衛星放送の中には、有料放送もございます。有料放送は各サービス会社との契約が必要です。契約していない場合は、スクランブルのかかった状態になり視聴ができません。これらはアンテナやチューナーの故障ではありません。

### ●ソフトウェア更新に関して

当社指定以外のソフトウェア、または当社指定のソフトウェアの 2 次配布されたものでの書き換え、改造による故障、その他のあらゆる損害に対して、当社、並びに販売店は一切の責任を負うことができません。ご注意ください。

現在ご利用中のソフトウェアの情報は、Board Informationにてご確認いただけます。また、当社指定のソフトウェアは、当社メーカーホームページ <http://shuttitec.com/world/> よりダウンロードできます。

# 安全にお使いいただくために

このチューナーは国際安全規格を満たしております。ご使用前に必ず本書をお読みください。

## ■ 主電源

90-250V、AC 50/60Hz 以外の電源電圧を使用しないでください。  
火災や感電の原因になることがあります。

## ■ コード

故障防止のため、品質保証の付いたコードを使用して下さい。

## ■ 設置位置

雨や雪、直射日光が当たる場所、植木鉢など水の入った容器、高温多湿な場所を避けください。

## ■ 清掃

- ① 清掃を行う場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。
- ② 乾いた布で拭いてください。

## ■ タコ足配線の禁止

タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因となります。

## ■ 換気

- ① 通風孔を塞がないで下さい。
- ② カーペットや軟らかい家具の上には設置しないでください。
- ③ 空気の流れを妨げるものがないことを確認してください。
- ④ 直射日光の当たる場所や、高温になる場所は避けてください。
- ⑤ チューナーの上に、他の電子機器を積み重ねないで下さい。

## ■ 液体

液体からは遠ざけてください。

水滴がかからないように、水の入った容器などは遠ざけてください。

## ■ アース線の接続

アース線を接続する場合は、必ず電源プラグを電源コンセントに接続する前に行ってください。  
また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。  
接続、取り外す際は、必ず先に電源を落としてください。アース線は SANBS061 を満たしたものを  
使用してください。

## ■ 落雷

- ① ご使用中は必ず電源コードを差したままにしておいてください。
- ② 落雷が発生した際、本商品に接続されている他の機器に関しましては、それぞれの取扱説明書をご参照ください。
- ③ アンテナ、電源、及びコードに落雷時の保護機能が付いていることを確認して下さい。

## ■ 保障

認証を受けた代理店にて保証を受けてください。

## **WARNING**

**RISK ELECTRIC SHOCK  
DO NOT OPEN**

**TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK, DO NOT  
REMOVE COVER (OR BACK). NO USER SERVICEABLE  
PARTS INSIDE. REFER SERVICING TO QUALIFIED  
SERVICE PERSONNEL.**



This symbol indicates "dangerous voltage" inside the product that presents a risk of electric shock or personal injury.



This symbol indicates important instructions accompanying the product.

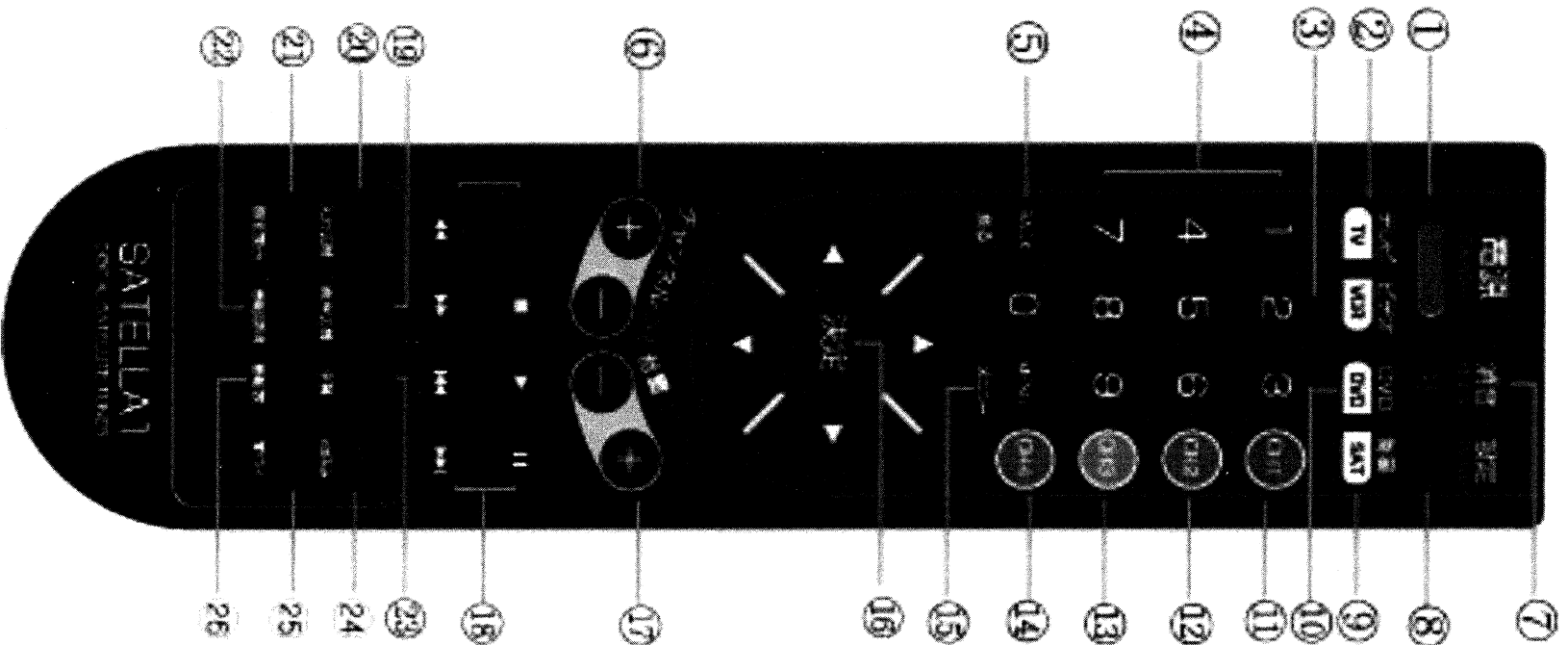
## 警告

感電の恐れがあるため開けしないでください。

感電の恐れがあるためカバーを開けしないでください。  
専門業者以外の修理は行わないでください。

- (左) この表示の注意事項を守らないと、火災、感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
- (右) この表示の注意事項を守らないと、感電その他の事故によりけがをしたり周辺の家具に損害を与える原因となります。

# リモコン操作

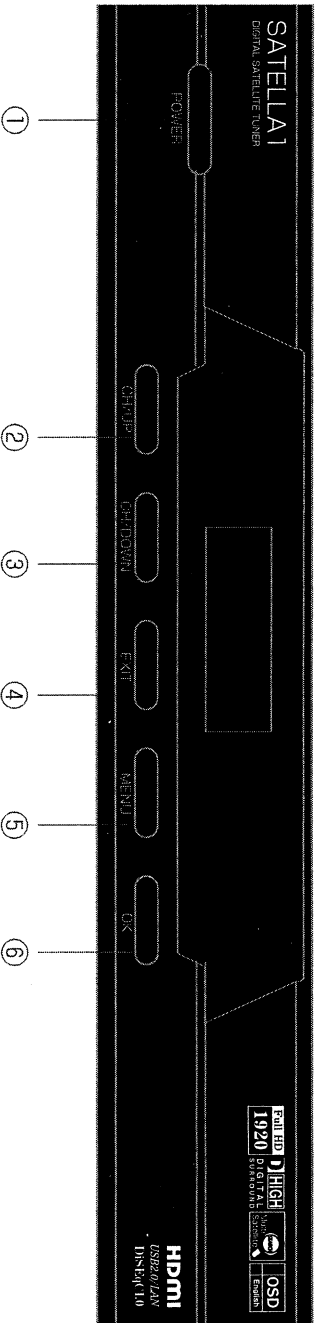


① 電源	電源のオン、オフ
②③⑨⑩ 装置切替	TV、ビデオ、DVD 衛星に装置切り替え
④ 数字ボタン	チャンネルの数字入力
⑤ BACK/戻る	メニューから通常表示に戻る
⑥ チャンネル	一つずつ、チャンネルを移動
⑦ Mute/消音	一時的に音を消す。再度押すと元の音量
⑧ Setup/設定	リモート装置を選択
⑪ CH1/CH2 CH3/CH4	お気に入りのチャンネル リストを選択
⑮ MENU/メニュー	メニュー表示、一つ前のメニュー表示
⑯ 決定	決定ボタン
⑰ 音量	音量を調節
⑱ 再生/停止 巻戻し/早送り	DVD や VCR を 再生時に使用
⑲ SAP/音声切替	主音声と副音声を切り替え
⑳ TV	入力の切り替え
㉑ VIEW/画質表示	画質の調整
㉒ INFO/番組表示	番組情報
㉓ TITLE/字幕	字幕を表示
㉔ FAV/お好み	お気に入りチャンネル内から選択
㉕ B/CH 前CH	前のチャンネルに戻る
㉖ EPG 番組表	番組表を表示

# チューナー各部詳細

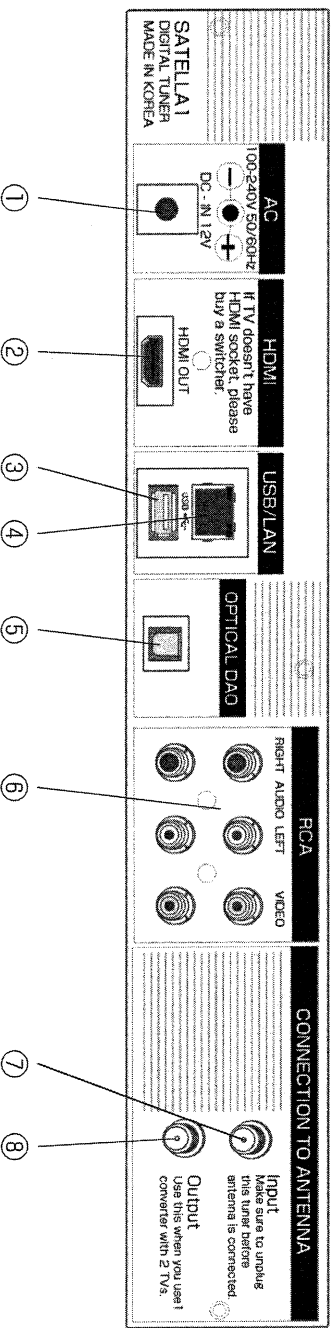
## ■ フロントパネル

フロントパネルでは、チャンネルボタン、電源、メニューボタン、戻るボタン、決定ボタンにて、基本的な操作ができます。LED ライトで最新の状態か、更新が必要かを確認できます。



- ① POWER 電源オンとオフ
- ② CH/UP 画面上カーソルを上に移動.
- ③ CH/DOWN 画面上カーソルを下に移動
- ④ EXIT 一つ前の画面に戻る
- ⑤ MENU メインメニューを表示
- ⑥ OK 選択内容を決定

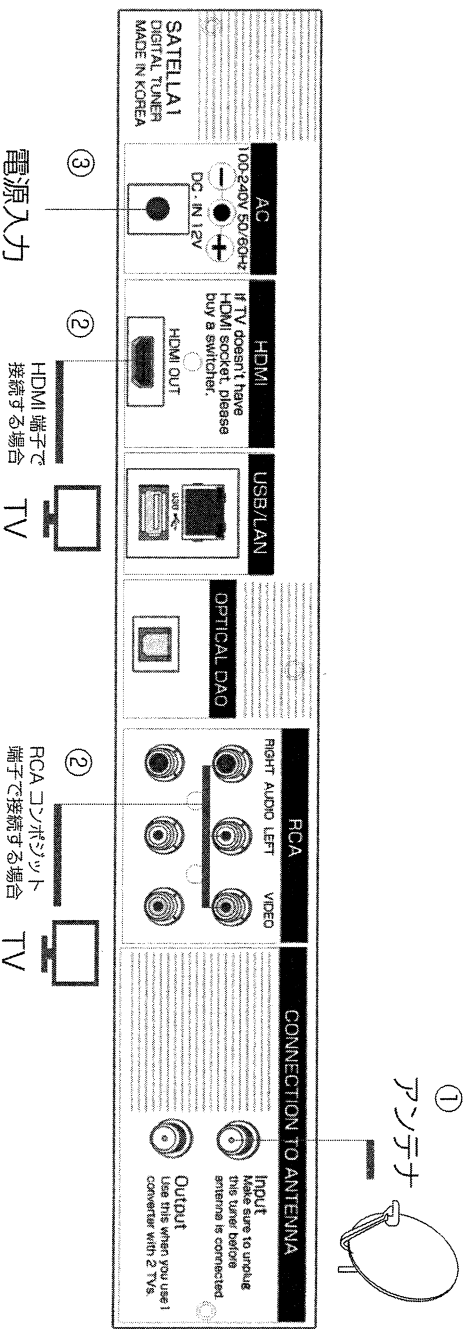
## ■ リアパネル



- ① 電源入力 DC 電源に接続
- ② HDMI 出力 高画質対応テレビの映像・音声端子に接続
- ③ USB 周辺機器との接続
- ④ LAN ネットワーク接続
- ⑤ 光デジタル音声出力 音声システムデジタル出力ソケット
- ⑥ コンポジット端子 テレビのコンポジット映像、ステレオ音声出力ソケット
- ⑦ アンテナ接続 衛星アンテナのLNBに接続
- ⑧ LOOP THROUGH 1台のコンバーターで2台のテレビにて映像を出力したい場合は、こちらを使用

# 接続方法

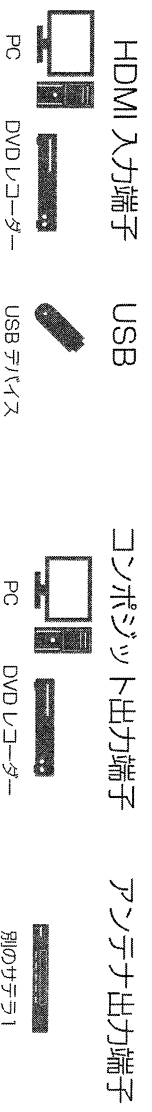
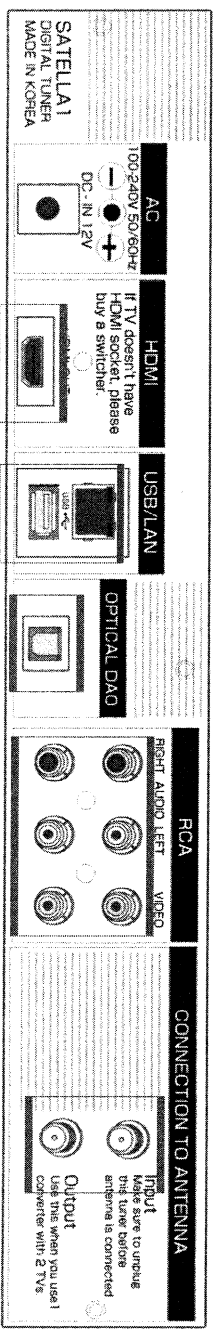
- ① 設置したアンテナからの同軸ケーブルを取り付けます。
- ② HDMI 端子、もしくは RCA コンポジット端子で TV と接続します。
- ③ 電源アダプターを接続します。



# 様々な接続方法

テレビ、ビデオデッキ、または、HiFi システムを組み合わせて接続する方法があります。最寄りの電気店にお問い合わせください。

録画機器との接続の際は、コンポジット機器、もしくは、HDMI 機器との接続も可能です。詳細は、録画機器の販売店にお問い合わせください。



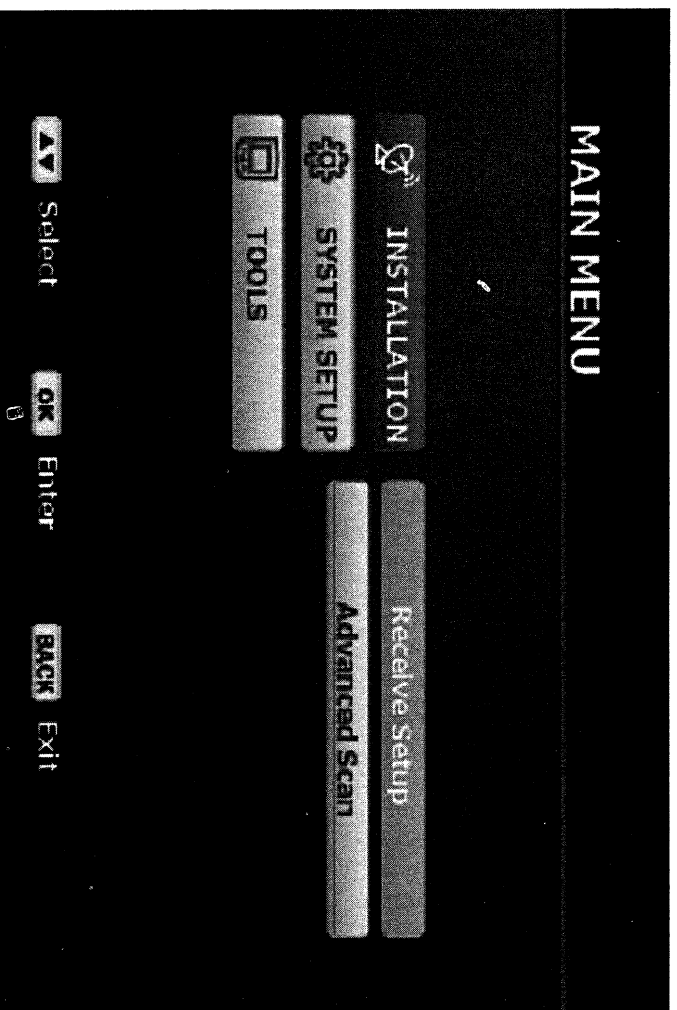


## 設定画面

### ■ メインメニューの表示

- ① 配線が完了した後に、TVとチューナーの電源を入れてください。
- ② リモコンのMENUボタンを押すと、TV画面にメインメニューが表示されます。
- ③ UP/DPWN ボタンを使って、目的のサブメニューに移動してください。
- ④ OK ボタンを押して選択内容を決定してください。メインメニューには、次の情報が表示されず。
- ⑤ 前の画面に戻るには、MENU ボタンか EXIT を押してください。

### ■ メインメニュー



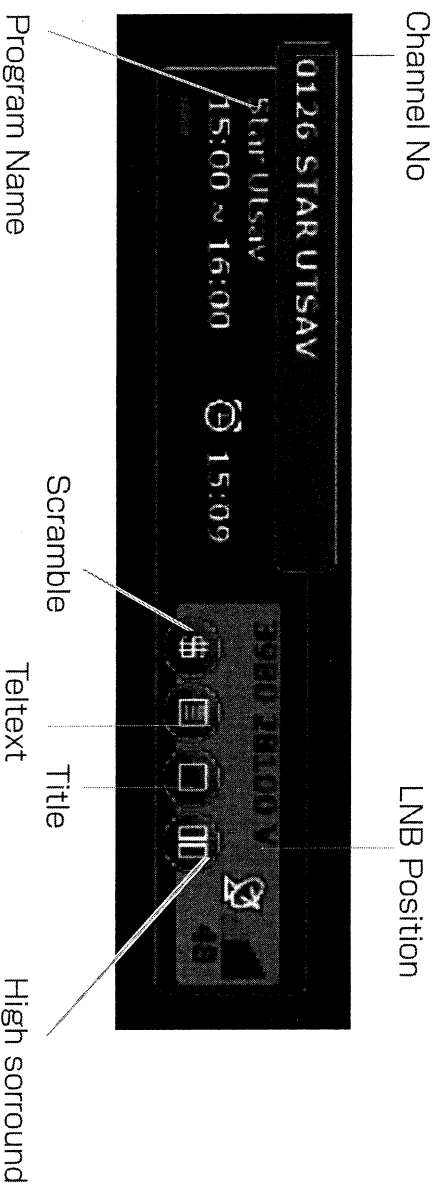
メインメニューには、次のサブメニューを表示します。

- 【INSTALLATION】 衛星受信の設定、受信レベルの設定
- 【SYSTEM SETUP】 TV、ネットワーク、パスワードの設定
- 【TOOLS】 基本情報の確認、最終更新時のデフォルト設定

# 基本機能

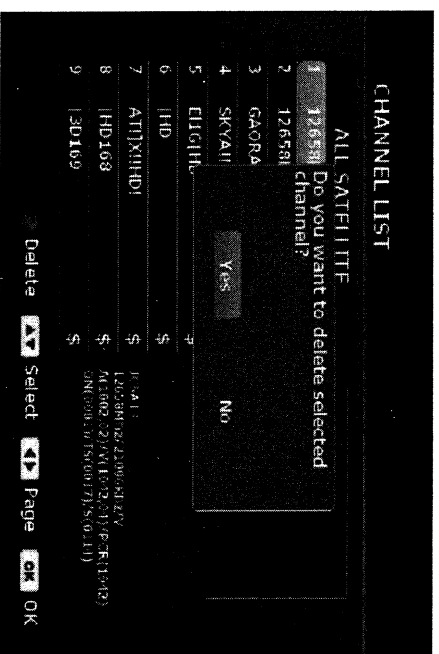
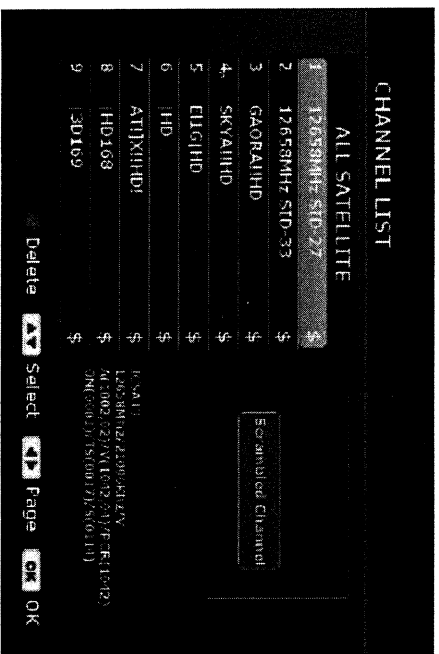
## ■ チャンネル情報の表示

チャンネルをいったん登録しておけば、チャンネルを切り替える度にチャンネル情報が表示されます。受信した衛星から最大500チャンネルをチャンネルリストに表示可能です。リモコンのOKボタンを押すと、10個ずつ表示されます。



※時計マークは現地の時間を表示。表示されない場合は、受信している放送局が発信していないだけでエラーではありません。

## ■ チャンネルリストの変更



- ① リモコンで、0～9までのお気に入りチャンネルの数字を押してください。
- ② リモコンの左右ボタンで移動してください。
- ③ リモコンの赤いボタンを押すと、「Do you want to delete selected channel?」と質問が表示されますので、削除したい内容を確認の上、「YES」を選択してください。削除が完了します。

## 設定手順

- サテラ1 とアンテナの接続が完了したら、受信設定を行います。不具合が起こった場合や、最新バージョンにアップデートする場合、ソフトウェアの更新を行います。

## メニュー操作

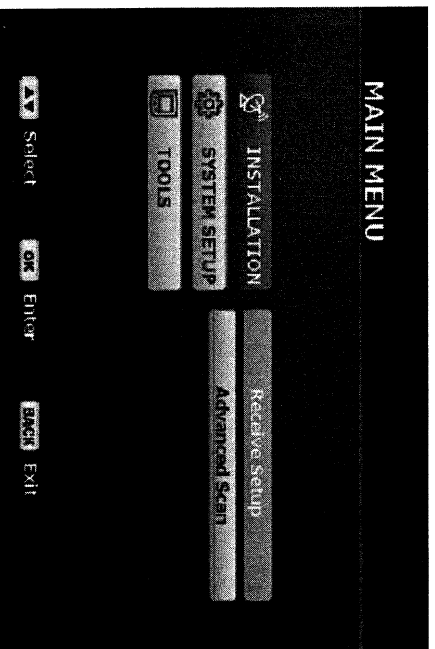
### ■ INSTALLATION インストール

このメニューでは、衛星の受信とチャンネル情報の登録に必要な設定を行います。

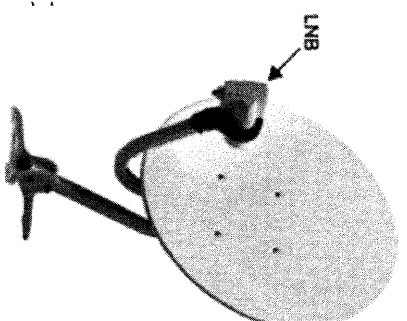
### ■ Receive Setup 受信設定

ここでは、衛星受信設定を行います。手順に従い、衛星をスキャンし、LNBでの受信確認まで行ってください。

### ■ Antenna Setup



- ① OK ボタンを押す。
- ② Receive Setup に移動する。
- ③ OK ボタンを押す。
- ④ Antenna Setup (受信設定) へ移動する。



<衛星受信設定:

Satellite :

リモコンの左右ボタンで衛星名を選択。

LNB frequency :

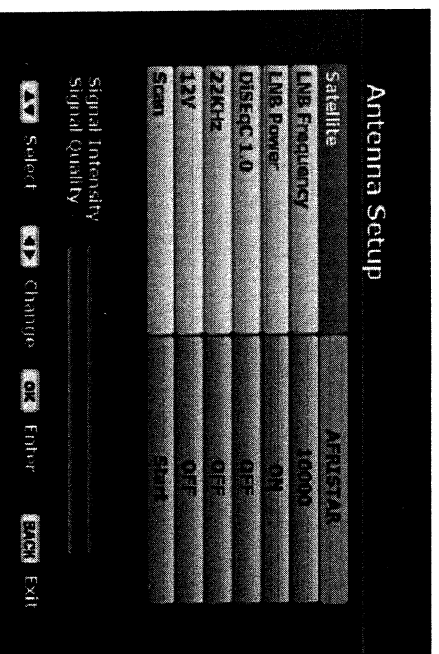
使用中のLNBに記載されている周波数を入力。

LNB Power: ON を選択。

DiSEqC : ON /OFF を選択。

22KHz : ON /OFF を選択。

12V : ON /OFF を選択。



SCAN : Start ボタンを押してスキャンを開始。Advanced Scan の画面に移動します。

※4,5,6については、アンテナをもう一台使用する場合に設定します。通常は OFF で OK。

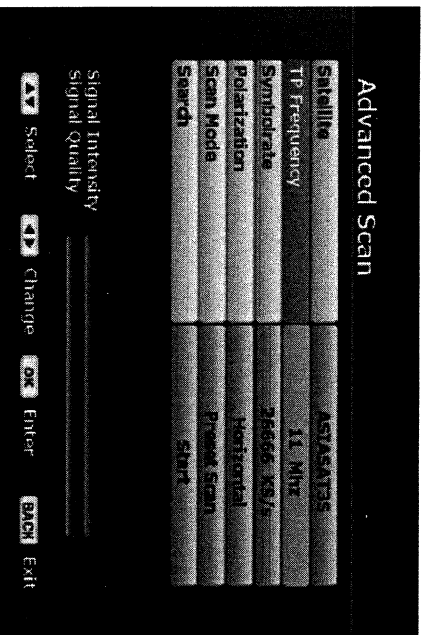
## ■ 自動スキャン

見たい衛星に合わせて正しいLNBをアンテナに付けていない場合は、自動スキャンができません。最初は Universal LNB にデフォルト設定されています。

DiSeqC とはアンテナ切替器を制御するスイッチです。未使用の場合は OFF を選択してください。22KHz とは、22KHz トーン方式切替器のことです。未使用の場合は OFF を選択してください。12V とは、電圧付加方式アンテナ切替器のことです。未使用の場合は OFF を選択してください。

## ■ Advanced Scan(マニュアル設定)

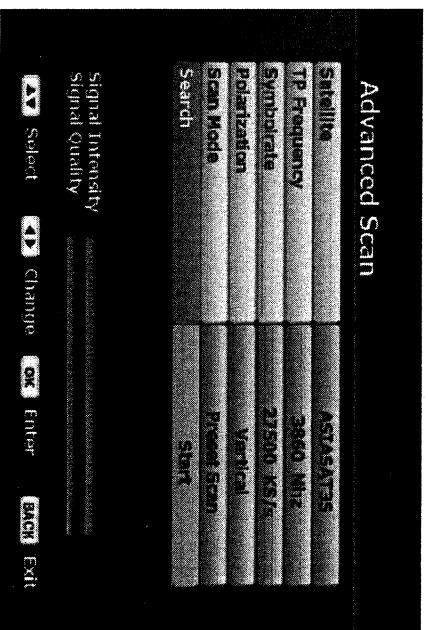
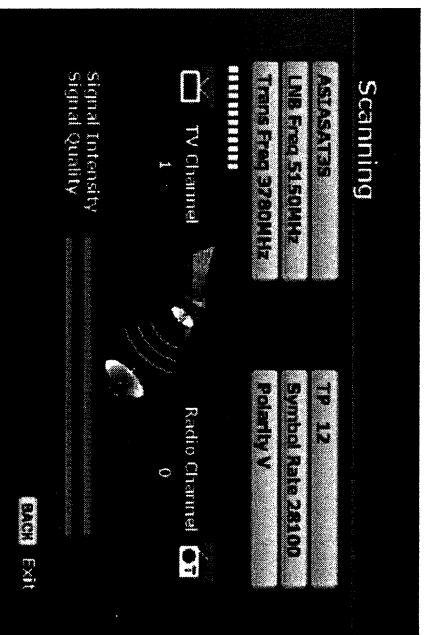
受信設定を手動で細かく設定できます。



- ① Advanced Scan menu を選択
- ② TP Frequency :  
リモコンのボタンを押すと表示されるトラポンリストから選択。もしくは数字を入力。LNB の周波数と近いものを選択。
- ③ Symbol Rate :  
SR 値を入力。TP Frequency と連動。
- ④ Polarization :  
Horizontal (水平) もしくは Vertical (垂直) を選択。TP Frequency と連動。
- ⑤ Scan Mode :  
Preset Scan あるいは TP Scan を選択。
- ⑥ Start ボタンを押して検索開始。

設定に必要な衛星の情報はこちらを参照ください。 <http://www.lnngsat.com/>

TP Scan とは、トラポン情報による検索です。選択したトラポンに該当する複数の衛星が検索されます。Preset Scan とは、トラポン、SR 値、信号方向の全ての情報を活用する、自動検索です。スキャンが完了後は、Exit ボタンで戻ってください。

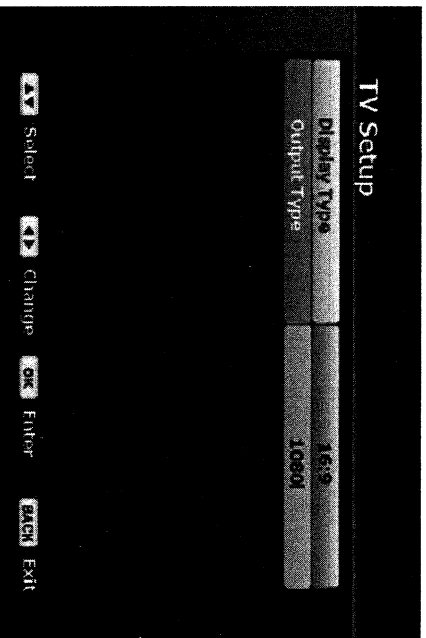


スキャン中、受信したTVチャンネル数が表示されます。

## ■ SYSTEM SETUP

TV 画面の設定とパスワード設定を行います。

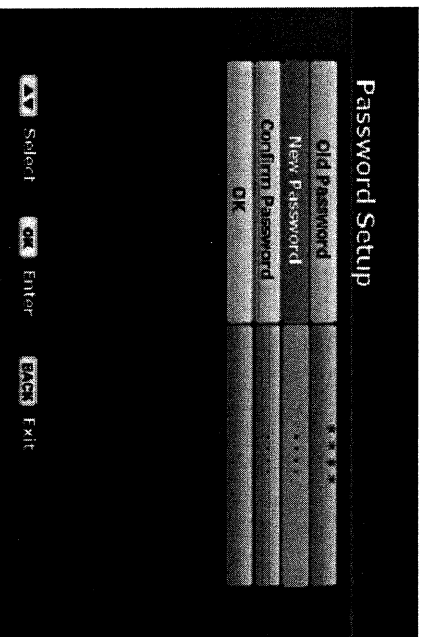
### ■ TV Setup テレビ画面設定



- ① Display Type : 4:3 (通常) もしくは、16:9 (ワイドスクリーン対応) のどちらかを選択。最初は 4:3 (通常) にデフォルト設定されています。
- ② Output Type : Auto、480i、720p、もしくは、0180i の出力タイプから選択。

出力タイプを選択することで、より高画質な信号をチューナーからテレビに送ることを選択できます。その場合、テレビ側でその出力に対応しているかを確認してください。最初は、Auto (自動) にデフォルト設定されています。

### ■ Password Setup パスワード設定



- ① New Password  
変更したい新しいパスワードを入力してください。
- ② Confirm Password  
確認のため再度入力してください。
- ③ OK ボタンを押して、確定します。  
最初は 0000 にデフォルト設定されています。

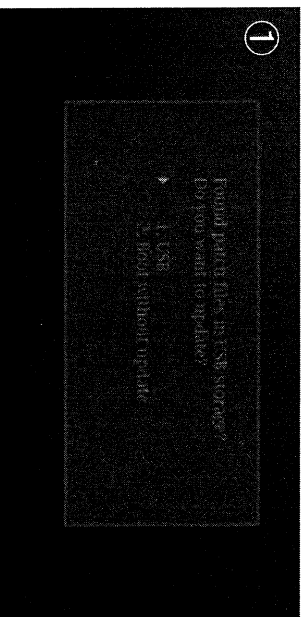
暴力的、性的、使用言語にて区分けされている番組に関してはペアレンタルロックをかけることが可能です。暴力的、性的な番組をお子様に見せたくない場合は、ペアレンタルロックをかけてください。その際、パスワードが必要となります。パスワードは紛失しないよう、別途保管してください。

※パスワードが紛失した際は、初期化することで、デフォルト設定の 0000 に戻ります。

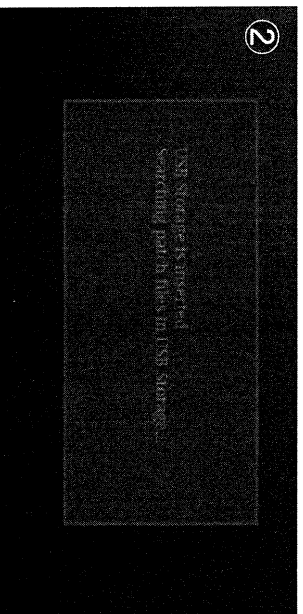
# ソフトウェアの更新

## ■ ソフトウェアの更新で常に機器を最新状態に

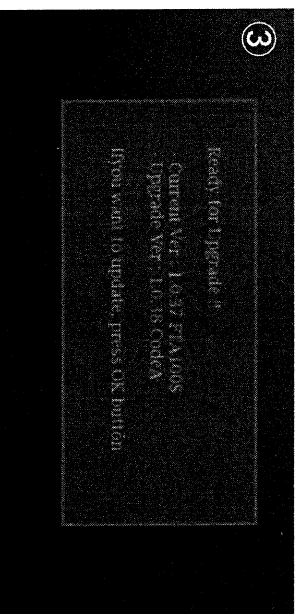
<http://shuttletec.com/>にある download ページより USB メモリへダウンロードする。  
サテラ 1 の電源 OFF の状態でサテラ 1 の裏面にある USB 端子に USB メモリを差す。  
USB メモリが点灯していないことを確認して下さい。点灯している場合は、電源アダプタを抜いて下さい。その後、サテラ 1 の電源を ON してインターネット線を裏面のインターネット端子に挿す。  
サテラ 1 の液晶画面に LOAD と表示されたら OK です。しばらくするとテレビの画面に下のイメージが  
出ます。



① リモコンで 1. の USB を選択して OK ボタンを押す。



② 数秒後に下の画面になります。

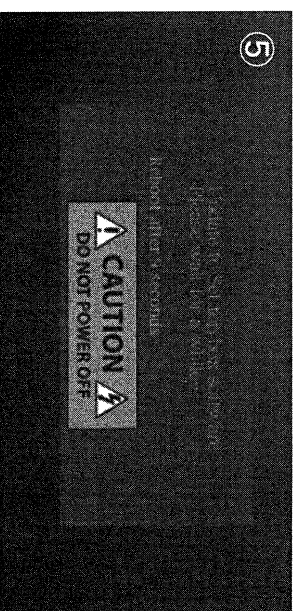


③ リモコンの OK ボタンを押す。

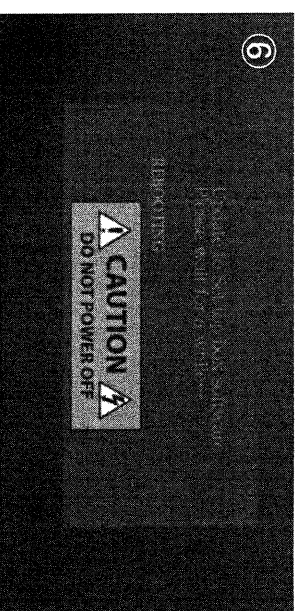


④ **※必ず 100%になる前に USB を抜いて下さい。**

黄色いバーが動きます。**100%になる前に、**  
サテラ 1 の裏に差した USB を外します。



⑤ 数秒後に下の画面になります。

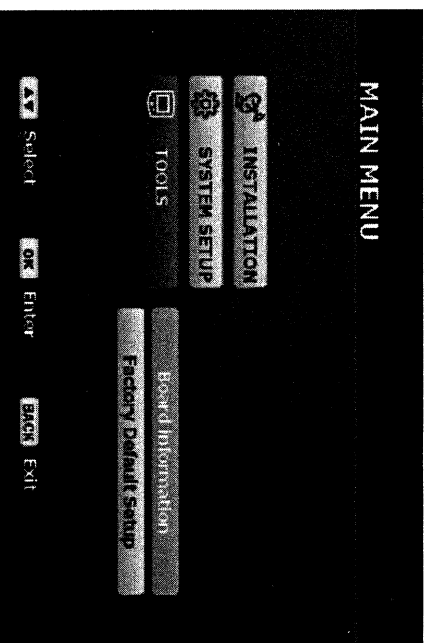


⑥ 完了です。しばらくすると画面が切り替わります。

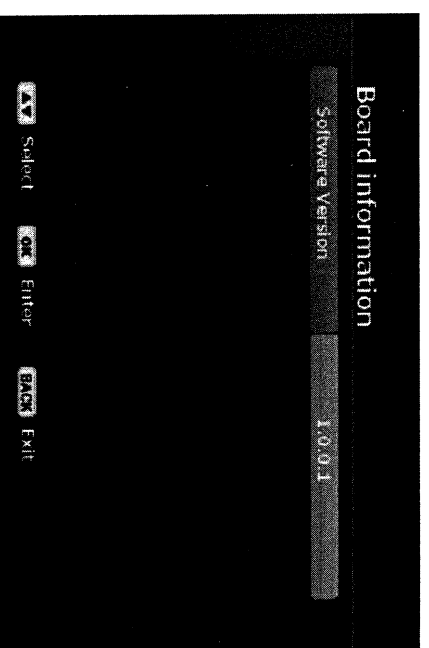
# 初期化設定

## ■ TOOLS ツール

基本情報の確認と、初期化設定を行う。



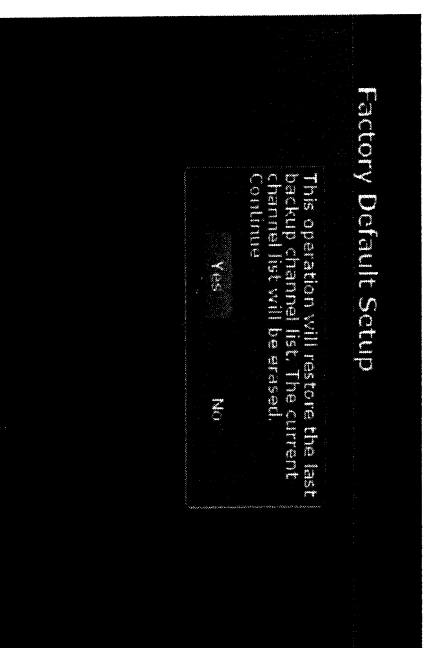
Board Information には、現在のソフトウェアの情報が表示されます。



Factory Default Setup では、初期化を行います。

最後にソフトウェアをインストールした状態まで戻ります。

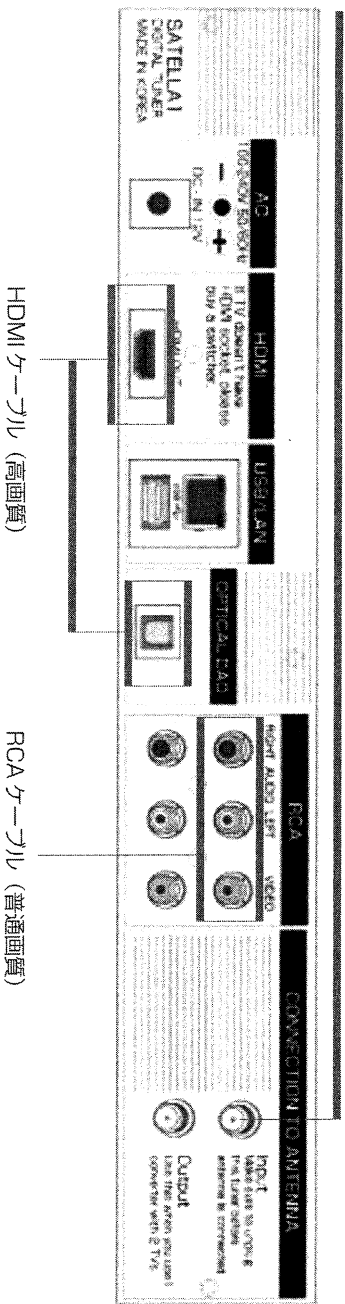
初期化すると、設定済みのチャンネル登録などの情報も削除されますのでご注意ください。



# 録画方法

## ■ 録画機器をつないで録画ができる

アンテナから映像と音声を受信するケーブル



## ■ 直接録画

- ① サテラ 1 の電源を入れます。
  - ② サテラ 1 で録画したいチャンネル番号に合わせます。
  - ③ 録画機器の電源を入れます。
  - ④ 録画機器のリモコンで外部入力力のチャンネルに切替えます。
  - ⑤ 録画機器の録画ボタンを押し、録画を開始。
- ※サテラ 1 は 1 台に対して、1 チャンネルの映像 / 音声出力できる機器です。録画機器側の機能（録画予約・録画中に CH 変更など）を使うには、もう 1 台のサテラ 1 を購入することで可能になります。

## ■ 高画質録画

- ① HDMI 出力端子と光デジタル出力端子 → 録画機器につなぎます。
  - ② 録画機器側のリモコンで録画開始。
- ※録画機器側に HDMI 端子と光デジタル端子があるかご確認ください。

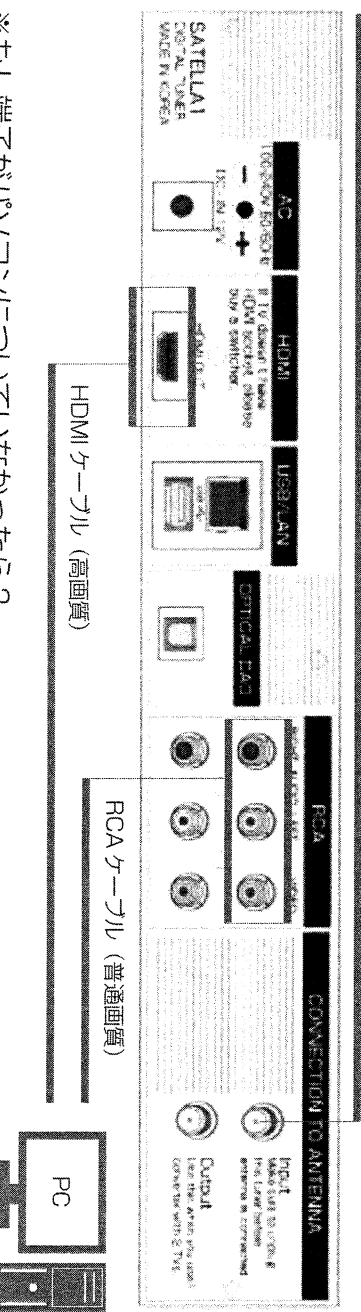
## ■ 普通画質の録画

- ① RCA 出力端子 (赤白黄) → 録画機器につなぎます。
- ② 録画機器側のリモコンで録画開始。

## ■ PC で録画、視聴ができる

- ① RCA 出力端子 (赤白黄) → パソコンにつなぎます。
- ② パソコン側で録画開始。

アンテナから映像と音声を受信するケーブル



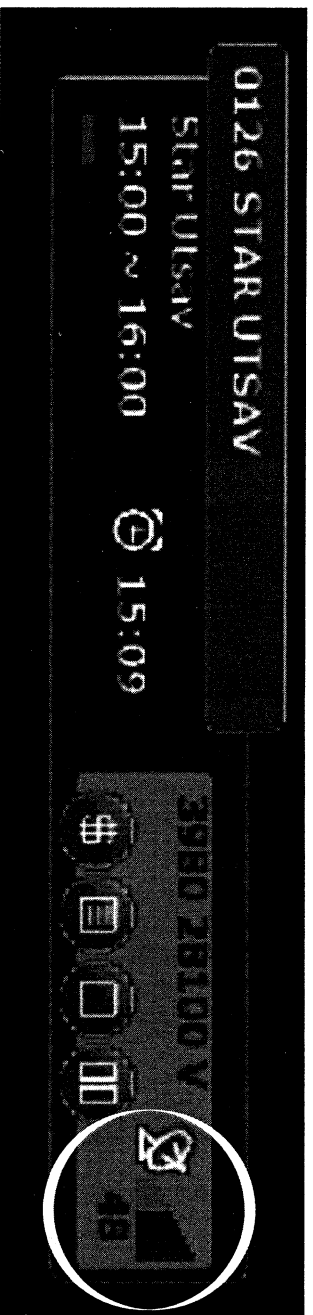
※もし端子がパソコンについていかなかったら？

市販の HDMI カード、RCA カードをお持ちもパソコンにセットアップする方法もございます。  
詳しくは、パソコンのご購入先にお問い合わせください。

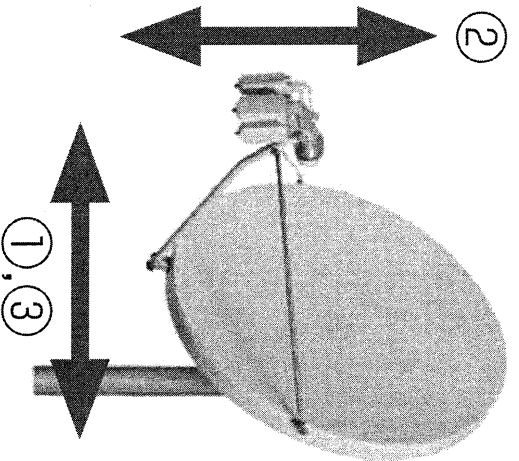


# アンテナ調整方法

- アンテナレベルを見ながら調整します。



上記アンテナレベルの画面を見ながらアンテナの方向を調整しますので、アンテナ取付位置からテレビが見えるようにして下さい。

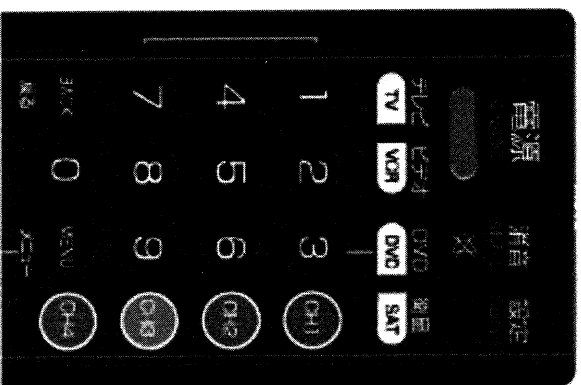


- ① 水平方向の調整で受信確認。  
仰角は軽く固定されているので、水平方向に動かして衛星放送が 受信できる位置を調べます。  
動かす速さはアンテナ先端の給電部が1秒間に5mm程度のゆっくりとしたスピードで動かして下さい。  
ペラントの方向や障害物、仰角の調整に狂いが無ければ必ず受信出来ます。
- ② 垂直方向の調整。  
ネジを締め水平方向を軽く固定します。  
次に垂直方向上下（仰角）を調整します。  
調整幅は極わずかですのでゆっくり動かして最大アンテナレベルの位置を見つけてみましょう。
- ③ 再度水平方向の調整。  
最後にもう一度水平方向（方位角）を調整します。  
調整幅は極わずかですのでゆっくり動かして最大アンテナレベルの位置を見つけてみます。
- ④ アンテナをしっかりと固定します。  
方位角・仰角の調整が終わり、アンテナレベルが最大になったらアンテナの固定をします。  
調整角度がずれないように注意しながらレンチやモンキーレンチでしっかりと締めてください。



## リモコンで TV/VCR/DVD を操作するには

- TV/VCR/DVD を操作するにはリモコンを以下のように合わせて下さい。



リモコンの設定をする。(例：テレビの場合)

- ① **電源** ボタンと **TV** ボタンを同時に押す。  
( **TV** ボタン赤いランプが点灯します。)
- ② 数字ボタンを利用して 007 と入力 (P.20 コード一覧参照)
- ③ **TV** ボタンを押す。(赤いランプは点滅後に消える)

テレビの電源をつける。

- ① **TV** ボタンを押す。

- ② リモコンの **電源** ボタンを押す。

(テレビとコンバーターの電源が連動している場合は、

コンバーターの電源をオンにするとテレビの電源も入ります。)

※VCR/DVD の設定も同じです。

# 登録されている衛星リスト

■ 初期登録されている衛星のリストです。※随時、更新されます。

AFRISTAR	ASTRA2A2B2D	EUTELSATW3A
AGIL2A	ASTRA3A	EUTELSATW5
AMAZONAS	ATLANTICBIRD1	EUTELSATW6
AMC1	ATLANTICBIRD2	EXPRESS-AM11
AMC10	ATLANTICBIRD3	EXPRESS-AM22SESAT2
AMC11	BONUM1	EXPRESS3A
AMC12	BRASILSAT4	EXPRESS6A
AMC12	BRASILSATB1	EXPRESSA1RAM1
AMC2	BRASILSATB2	GALAXY10R
AMC3	BRASILSATB3	GALAXY11
AMC4	CAKRAWARTA1	GALAXY12
AMC5	CHINASTAR1	GALAXY13HORIZONS-1
AMC6	DIRECTV1	GALAXY1R
AMC7	DIRECTV1R23	GALAXY3C
AMC8	DIRECTV6	GALAXY4R
AMC9	ECHOSTAR12	GORIZONT33
AMOS12	ECHOSTAR3	HELLASSAT2
ANIKE1	ECHOSTAR4	HISPASAT1B1C1D
ANIKE2	ECHOSTAR68	HOTBIRD12346
ANIKF1	ECHOSTAR7	INSAT2E3B
APSTAR1A	ECHOSTAR9	INSAT3A
APSTARIIIR	EDUSAT	INSAT3C
APSTARV-TETSTAR18	ESTRELADOSUL1	INSAT3E
ARABSAT2A2C2D3A	EURASIASAT1	INTELSAT1002
ARABSAT2B	EUROBIRD1	INTELSAT603
ASIASAT2	EUROBIRD3	INTELSAT701
ASIASAT3S	EUROPESTAR1	INTELSAT702
ASIASAT4	EUTELSATILFF2	INTELSAT704
ASIASTAR	EUTELSATSESATW4	INTELSAT705
ASTRA1C1E1F1GH2C	EUTELSATW1	INTELSAT707
ASTRA1D	EUTELSATW2	INTELSAT801

INTELSAT802	NIMIQ1	TELECOM2A
INTELSAT804	NIMIQ2	TELECOM2D
INTELSAT805	NSS5	TELKOM1
INTELSAT901	NSS6NSS7	TLESTAR10
INTELSAT902	NSS703	TLESTAR11
INTELSAT903	NSS806	TLESTAR12
INTELSAT904	OPTUS A3	THAICOM1A
INTELSAT905	OPTUS B1	THAICOM23
INTELSAT906	OPTUS B3	THOR23
INTELSAT907	OPTUS C1	TURKSAT1B
INTELSATAMERICAS13	PAKSAT1	TURKSAT1C
INTELSATAMERICAS5	PALAPAB4	WORLDSAT-1
INTELSATAMERICAS6	PALALAC2	YAMAL102201
INTELSATAMERICAS7	PANAMSAT1R	YAMAL202
JCSAT110	PANAMSAT2	
JCSAT1B	PANAMSAT3R66B	
JCSAT2A	PANAMSAT4	
JCSAT3	PANAMSAT710	
JCSAT4A	PANAMSAT8	
KOREASAT2	PANAMSAT9	
KOREASAT3	RAINBOW1	
LM11	SATMEX5	
MEASAT1	SBS6	
MEASAT2	SINOSAT1	
N-STAR A	SIRIUS23	
N-STAR B	SOLIDARIDAD2	
NAHUEL1A	ST1	
NEWSAT1	SUPERBIRDA2	
NILESAT101102	SUPERBIRDC	

# トラガルシチューナーインダ

- テレビ画面に何も映らない場合…
- 衛星の受信レベルを上げる。受信レベルが低いと画面が真っ黒のままです。(一般的に50以上、ベストは70以上の受信レベルが必要となります。)
  - チューナーの電源が入っていることを確認します。
  - テレビのビデオ出力端子が正しく接続されているかを確認します。
  - HDMI、RCAコネクタソケット(赤白黄)とどちらかに外部出力を合わせます。
  - リモコンのSA T 押す。● テレビの入力切り替えを正しく選択しているか確認します。
  - テレビの明るさレベルを調節します。

## ■ その他のトラガルと解決方法

問題	解決方法
<b>チューナーのトラガル</b>	
チューナー本体の画面に何も表示されない。電源が入らない。	電源コードが正しく接続されているか確認します。チューナーが正しく配線されているか確認します。
画質が悪い。	テレビ画面に何も映らない場合を参照。受信レベルを確認し、テレビとチューナーそれぞれの音量を確認します。テレビとチューナーそれぞれのミュート設定を確認します。
音が出ない。	テレビ画面に何も映らない場合を参照。
リモコンが操作できない。	チューナーに対して真っ直ぐに向けます。もしくは、電池を交換します。
<b>画面表示</b>	
受信状況が悪い、もしくは、受信できない。	<ul style="list-style-type: none"><li>・ LNBを確認します。必要なら取り替えます。</li><li>・ LNBからのケーブル配線を確認します。</li><li>・ アンテナディッシュの位置を確認します。必要なら、調整します。</li><li>・ DiSEqC 1.0 スイッチをお使いの場合は、LNB に正しく接続されているか確認します。</li><li>・ チャンネルリストや、チャンネル検索メニューの中の、“Signal Strength” と “Signal Quality” を確認します。</li></ul>
<b>その他のトラガル</b>	
パソコンを忘れてしまった。	初期設定に戻します。詳細は、本書に記載の初期化設定をご確認下さい。



# Technical Specifications

## ■ A / V & Data In / Out

I/VIDEO (Composite)	: RCA
HDMI	: High Definition Media Interface, RGB
AUDIO R/L	: RCA Volume and Mute Control
(Resolution :20bit DAC, max 2Vrms)	
S/PDIF	: Digital Audio Optical Output

## ■ Power Supply

Input Voltage	: DC 12V
Type	: DC Adaptor
Power Consumption	: Max: 30W
Standby Power	: 7W
Protection	: Separate internal fuse, The input shall have
lightning Protection	

## ■ Physical Specification

Size (W x H x D)	: 280 x 58 x 206 mm
Weight (Net)	: 1.4 Kg
Operating Temp	: 0° C to +45° C
Storage Temp	: -10° C to +65° C
Storage Humidity	: 5% ~ 95% RH (Non-Condensing)

## ■ Tuner & Channel

Input Connector : F-type, IEC 169-24, Female  
Frequency Range : 950 MHz to 2150 MHz  
Input Impedance : 750hm unbalanced  
Required Signal Level : -25 to -65dBm  
IF Frequency : 480 MHz  
IF Band width : 36 MHz  
LNB Power & Polarization : Vertical +13V, Horizontal +18V  
Current : 500mA Max Overload Protection  
22KHZ Tone : Frequency 22±4KHZ  
Amplitude 0.6±0.2V  
DiSEqC Control : Version 1.0/1.2 Compatible  
Demodulation : QPSK  
Input Symbol Rate : 1 ~ 45 Ms/s

## ■ MPEG Transport Stream A/V Decoding

Transport Stream : MPEG-2 ISO/IEC 13818  
Transport stream Specification  
Profile Level : MPEG-2 MP@ML  
Input Rate : Max 90 Mbit/s  
Aspect Ratio : 4:3, 16:9  
Video Resolution : 1080i, 1280 720p, 720 480p, 720 480i  
Audio Decoding MPEG : I, II & III  
Dolby Digital : Decode and Down Mixing  
Output Mode : Single Channel/Dual Channel/Joint Stereo  
Audio Mode : Single Channel/Dual Channel/Joint Stereo /  
5.1 Channel /S/PDIF (Optical)  
Sampling : 32, 44.1 and 48KHz

## ■ Memory/Processor

Main Processor : New T-MIPS R3930 (81MHz)  
Flash Memory : 2Mbyte (Asynchronous)